

第10回 発電用設備規格委員会 材料専門委員会 議事録

1. 日 時:2011 年 2 月 14 日(月) 13 時 30 分～17 時 00 分
2. 場 所:日本機械学会 第1会議室
3. 出席者:(委員 23 名中;出席者 19 名(代理 3 名), 欠席者 4 名)
増山(九工大)、高橋(電中研)、木村(NIMS)、浅山(JAEA)、尾崎(東電)、榎木(住金テクノロジ-), 田村(パブ日立)、中城(東芝)、藤森(日立GE)、船田(JNES)、南(NKKシームレス鋼管)、山田(中電)、玉置(NISA)、朝田(三菱重工)、田中(日本製鋼所)、伊勢田(住金)
代理人:戸田[澤田(NIMS)], 鮎川[齋藤(三菱重工)], [伊藤(石毛(IHI))]
欠席者:安藤(横浜国大)、木原(ベストマテリア)、三枝(電中研)、吉田(発電技研)
オブザーバ:大谷(MHI), 鬼澤(MFBR)
事務局:高柳、海野、薄井
4. 配布資料
資料 10-1:議事・資料確認前回議事録確認
資料 10-2:委員委嘱関係
資料 10-3:規格委員会報告
資料 10-4:前回議事録確認
資料 10-5:溶接継手検討タスクまとめ
資料 10-6:高速炉規格における新規材料の規格化について
資料 10-7:材料現象解説について
資料 10-8:材料(設計値)規格化申請に関する事項
資料 10-9:デジタルデータの取り扱いについて
5. 役員選出について
以下の役員就任が承認された。
委員長から副委員長、幹事の指名があり、高橋副委員長および木村幹事の就任が承認された。
6. 報告事項
規格委員会報告
第55回規格委員会の審議内容の内、材料専門委員会関連内容が報告された。
7. 審議事項
(1)溶接継手検討タスクグループまとめ
前回の専門委員会で概要が報告・承認された溶接継手検討タスクグループの検討結果が改めて「溶接継手強度低減係数に関する検討結果(まとめ)」として報告された。本件はすでに火力専門委員会に回答し、それが盛り込まれた規格改訂案が規格委員会の投票にかかっている。タスクの今後については、次回議論することとなった。

(2) 高速炉規格における新規材料の規格化について

高速炉規格 2012 年版で予定されている新規材料(316FR 鋼および改良 9Cr-1Mo 鋼)の規格化に関して、原子力専門委員会からの正式依頼が行われることを前提として、技術的観点からのレビューを行うことおよびレビュー結果を次回専門委員会にて提示することを合意した。

(3) RQ09-C2-002 材料現象に関する解説(非強制規格)

材料現象に関する解説について、ASME 規格を各委員が分担精訳し、全体が集約(オリジナルのボイラ関連の材料事象解説を追加)されたが、さらに、文章や用語の統一、調整が必要であることから、全体を4分割してそれぞれに担当者を決め、調整を継続することにした。

(4) 材料(設計値)規格化申請に関する事項

各規格毎に担当責任者を決定し、JSME の各規格で規定されている「新規材料の取り込み指針等」の内容について、各規格間で不整合等が無いかどうかを確認して、平成 23 年 4 月 1 日までに木村幹事へレビュー結果を連絡することとした。

(5) デジタルデータの取り扱いについて

材料専門委員会では新材料の登録、許容値の策定・改定など、今後、さまざまな場面でデジタルデータを用いた作業や検討が必要になることが予想されるため、データ提供の手順やデータ管理の方法など具体的な進め方についての案が出され、引き続き検討していくこととなった。

8. 次回開催予定

日 時:2011 年4月18日(月) 13:30~17:00 (予定)

場 所:日本機械学会 第1 会議室

以 上